

かすみがうら市行政機能拡充プランの進捗状況

市長公室政策経営課

令和6年8月

目 的

市民に便利で快適なサービスを効率的、効果的に提供すること、また、各公共施設の老朽化対策として、行政機能の移転を行います。

○新たな窓口機能開設と併せて、デジタル化(自治体DX)推進による住民の利便性や行政サービスの質の向上

○庁舎、支所・出張所等の機能分担と中心市街地におけるコミュニティ機能の強化

○中心市街地へ新たな庁舎機能を整備し、災害時のリスク対応強化

○各公共施設の老朽化に対応すべく、計画的・効率的な整備の推進

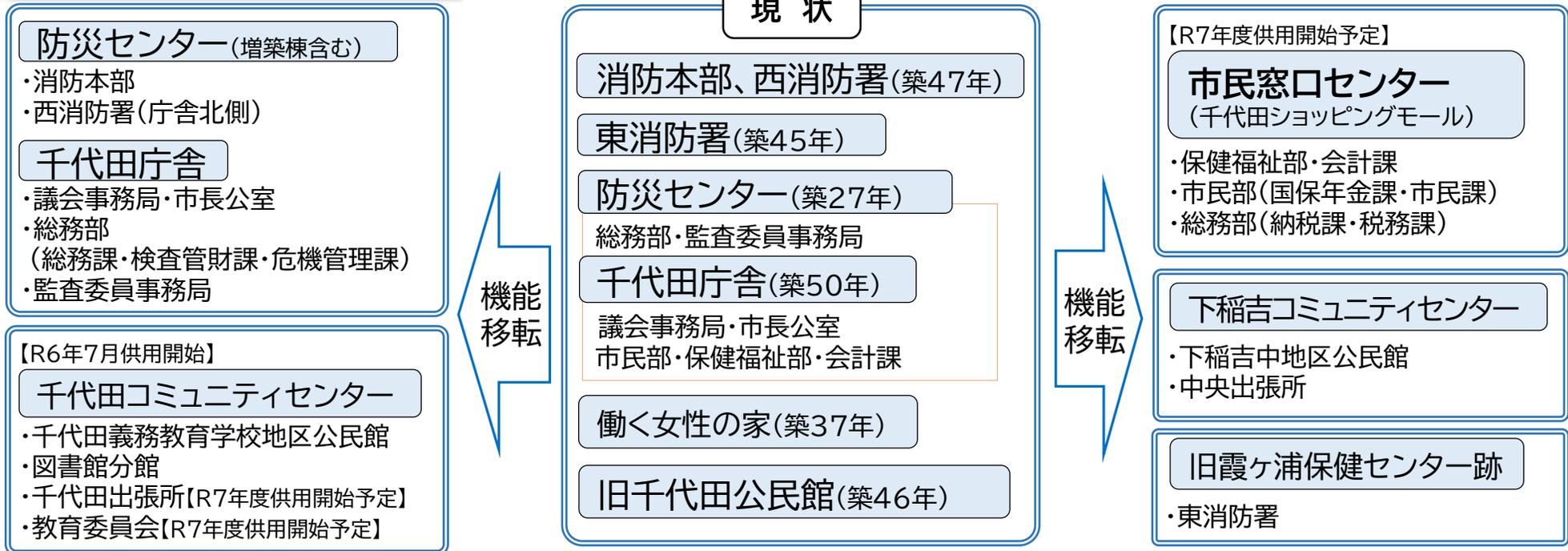


デジタル回線を活用した窓口対応のイメージ

※自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)

自治体がデジタル技術を活用して、住民の利便性や行政サービスの質を高めること。

機能拡充の全体イメージ



○R6年7月に旧千代田公民館から千代田コミュニティセンターに、千代田義務教育学校地区公民館、図書館分館の機能を移転。旧千代田公民館は解体・借地の返還。R7年度には千代田出張所と教育委員会を設置。

○窓口機能の中心を千代田ショッピングモールへ移転。

○下稲吉コミュニティセンターに下稲吉中地区公民館と中央出張所を設置。

○千代田庁舎に隣接する防災センター内の行政機能(総務課等)を千代田庁舎1階へ移転。

○消防本部、西・東消防署を防災センター、千代田庁舎北側、旧霞ヶ浦保健センター跡へ移転。現在の消防庁舎は解体・借地の返還。

主な公共施設の概要【R6 現在】

施設名	敷地面積(m ²)	借地面積(m ²)	建築年	延床面積(m ²)	構造
消防本部・西消防署	4,999.00	4,999.00	S52	744.11	RC
東消防署	3,922.84	70.00	S54	472.06	RC
千代田庁舎	17,567.92	135.00	S49	3,398.00	SRC
防災センター(千代田庁舎裏)			H9	1,020.18	RC
増築棟(千代田庁舎裏)			H19	483.87	RC
旧千代田公民館	13,849.52	11,928.00	S53	1,471.00	RC
働く女性の家	3,179.00	0	S62	1,091.87	RC
千代田コミュニティセンター	20,619.82	0	H22	2,879.00	RC
市民窓口センター(中央庁舎) (千代田ショッピングモール)	—	—	H15	1,494.65	S

※SRC:鉄筋鉄筋コンクリート造 RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造

千代田ショッピングモールに市民窓口センターができるメリット

- ・ショッピングモールの商業機能に加えて、住民サービスの拠点施設が配置されることで経済的な相乗効果が生まれる。
- ・公共バス停留所やデマンド交通の乗降場となっており、交通結節点として便がよい。
- ・商業施設となっているため、利用者の駐車場は十分な面積が確保されている。
- ・財政的な経費を抑えつつ市民の生活利便性を向上させることができる。
- ・老朽化した公共施設の再配置の計画を進めることが可能。
- ・期日前投票所の移転、各地区の投票所の移転・統合の検討も可能。

消防本部、西・東消防署機能拡充

消防本部、西・東消防署の現状

- ・竣工から消防本部、西消防署が47年、東消防署が45年経過。震災後も大規模な改修をしておらず、老朽化が進んでいる。
- ・敷地の形状から大型車両等がスムーズに出入りしにくい。
- ・消防本部、西消防署では敷地のすべて借地となっている。
- ・事務所は手狭で効率的な業務運営に支障あり。
- ・公共施設全体の中でも、喫緊の課題施設であり、移転等の検討が進められてきた。

公共施設マネジメント実行計画 第Ⅰ期計画における消防本部の位置づけ

土地の保有状況や建物の老朽化等を踏まえ、第Ⅱ期に向けて、西・東消防署とともに適正な位置への移転を検討、調整する。

- ・将来の広域化や近隣自治体の配置動向を踏まえ、広域的な視点で検討する。
- ・可能な限り建設経費圧縮を図り、適切な用地を選定する。
- ・災害時の対応力強化が図れる点を重視する。
- ・将来の公共施設再配置計画において、老朽化施設の改廃に多額の予算が必要となる。
- ・新設ではなく、公共施設の機能移転により、関連施設を最大限活用する。



- 消防活動拠点としての機能を維持・改善し、住民の安全安心を守るため、将来の広域化を見据えた措置として消防本部、西・東消防署移転を計画。
- 健全な財政運営を維持するため、現存する関連公共施設を最大限活用することとして、移転先を千代田庁舎防災センター、千代田庁舎北側、旧霞ヶ浦保健センター跡とする。
- 施設は改修及び建設し、令和9年度中の供用開始を目指す。

全体スケジュール(案)

令和6年

7月
千代田コミュニティセンターに、千代田義務教育
学校地区公民館、図書館分館を設置

7月～
市民窓口センター改修工事

8月～
勤労者少年ホーム・稲吉児童館解体、
その後、借地返還

令和6年度後半～
消防本部、西・東消防署の設計

令和7～9年

4月
・千代田庁舎1階機能を千代田ショッピングセンター内へ移転
・千代田コミュニティセンターに千代田出張所を設置
・総務部、監査委員事務局を防災センターから千代田庁舎1階へ移転

防災センター・増築棟を消防機能として改修・移転

西・東消防署の建設・移転

消防本部、西・東消防署解体、その後、借地返還

旧千代田公民館・旧千代田講堂の解体、その後、借地返還

このほか、下記の施設が更新時期を迎えるため、必要に応じた対応を検討

施設名	敷地面積(㎡)	借地面積(㎡)	建築年	延床面積(㎡)	構造
第1常陸野公園	62,955.35	18,817.72	S55	—	—
千代田B&G海洋センター	4,595.00	881.00	S58	—	—
多目的運動広場	69,380.00	全て借地	S58	—	—
体育センター	10,104.76	全て借地	S60	—	S
わかぐり運動公園	61,071.00	全て借地	S63	—	—